

会 議 録

1 会議名

第5回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

2 議題

1) 開会（公開）

2) 議題（公開）

駅周辺公共空間及び新幹線駅舎デザインの基本的な考え方について

3) その他

4) 閉会

3 開催日時

平成22年5月20日（木）午前10時から

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委員

飯塚むつこ、伊藤えり子、内山勇人、大島政義、黒野弘靖、
関由有子、田中弘邦、平野仁、水野一郎

オブザーバー

奥野賢新潟県都市政策課長（代理：田中雅史同主任）、田村定
文新潟県交通政策課長（代理：小林佳布同主任）、西田聡JR
東日本新潟支社企画室長（代理：山川昭夫同副課長）、斎藤浩
同主席、津金昭一鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長、滑川
昌彦同建築課長、佐藤行雄同課長補佐

事務局（上越市）

竹田淳三総合政策部長、柴山弥松新幹線・交通政策課長、伊藤
伸同係長、岩澤紀之同主任、三井田正志同主任、渡来美香同主
任、市川公男新幹線新駅周辺整備事務所長

委託業者

八千代エンジニアリング株式会社
金沢工業大学 教授 蜂谷俊雄

8 発言の内容

(1)開会 (総合政策部長より挨拶)

(2)議事

駅周辺公共空間及び新幹線駅舎デザインの基本的な考え方について (事務局より次について説明)

駅周辺公共空間及び新幹線駅舎デザインの基本的な考え方について

(水野座長) まずは自由通路の東西昇降施設について。東口は歩行者動線を集約させたのに対し、西口の歩行者動線を集約しないのはなぜか。

(事務局) 西口は駅前広場北側に、旅館等の送迎車両対応のプールを計画していること、また釜蓋遺跡が北側歩道に連続すること、東口と異なり広場中央に歩道がないことから、北側への動線を強化すべきと考えたためである。

(関委員) 東口のエントランスホールの高さが高く感じられるが、どのような理由からなのか。

(事務局) 東西ともにコンセプトを踏まえた計画としている。西口については水平方向への視界を意識し、東口については垂直方向を意識した計画としており、周辺市街地との関係からも高さの表現が必要であると考えた。また新幹線駅舎が320mという長大な施設であることから、これに対峙できる高さとし、新幹線駅舎より小さく貧弱にならないようにしている。

また、断面図状に破線で表示しているのはドームであるが、この半球の高さから決めている。パンテオンの流れから、きれいな半球を確保すべきと考えている。中途半端な半球では美しくなく、中途半端になってしまうため、きれいな半球としている。

(平野委員) 西口昇降施設の1階部分や東口のホール内はどのような使い方となるのか。また西口については以前、委員から北西からの風が強いとの意見が出たことから、吹きだまりのイメージがある。

(事務局) 西口については、待合いや休憩、遺跡に関する情報提供など自由な使い方を想定している。東口についても待合いや休憩、地域の方々のイベント利用などにも使える多目的な空間

を想定している。西口についてはエレベーターや自由通路の機械室としての利用も考えられ、現時点では未定の状態である。

(内山委員) 雁木はどのようになるのか。

(事務局) 前回の会議では、新幹線駅舎に対する雁木のイメージとしていたが、ヒューマンスケールの観点から、規模を縮小するとともに、昇降施設と一体的な計画とし、昇降施設に対する雁木のイメージとしている。また以前のような片流れ屋根ではなく、切妻屋根とすることで、スケール感を抑えるよう検討している。

また雁木と新幹線駅舎の間であるが、新幹線駅舎の高架部分の修景や北西からの風除けという観点から、竹林を配置している。

(飯塚委員) 雁木とともに格子をイメージするが、どのような修景が考えられるのか。

(事務局) 本日は基本的な形状についてご検討頂きたいと考えている。基本的な形状が了承された時点で、格子などを用いた修景について検討する予定である。

(関委員) ドームの象徴性や歩行者動線の構成は理解できた。

平面図をみると東西の軸が連なった強い軸となっており、ドームのところで軸が重なり、西洋的な考え方ということで理解できる。

可能であれば、現在のようなシンメトリーな形状ではなく、軸線をずらしたり、雁木のようにクランクを設けるなど日本的なデザインとして変化をつけてはどうか。

(事務局) 交通動線における安全性の確保など、機能面が担保でき、その中で変化がつけられるようであれば考えたい。

(伊藤委員) 地場材はどのような場所に利用する計画なのか。

(事務局) 東口のエントランス内のドーム部分や雁木の天井部分、また自由通路内の修景や昇降施設の天井面などへの利用が考えられる。

(大島委員) 地元からも地場材利用について多くの要望が出ているので、是非、地場材を利用して欲しい。

(関委員) 頸城の3種類の石や、旧新井市では干草石(ちぐさいし)などもあり、造園にも使われている。敷石に使えるかは分からないが、これらの利用も考えてはどうか。

- (事務局) 歩道全体をブロックなどで舗装するだけでなく、ストリートファニチャーとして利用することを考えたい。
- (飯塚委員) 建築内についても、従来の誘導ブロックではなく木材を利用するなど、ユニバーサルデザインの一環としての利用も考えて欲しい。地場材を使ったユニバーサルデザインというもの人を引きつける空間に資するのではないだろうか。
- (平野委員) シェルター側面へのガラスの配置ということも、ユニバーサルデザインの観点から有効ではないだろうか。
- (事務局) 詳細設計はデザインを決めてからとなるが、ご指摘のとおり、横風による影響も考慮する必要があると考えている。
ただ、全てをガラスで囲うことはできないため、出来る範囲で考えていきたい。
- (田中委員) できるだけ木材や石材を使用して欲しい。これにより全体に柔らかみが出て、良い空間となるだろう。
- (水野座長) 杉材は柔らかいため床面には難しいと思うが、適材適所で使ってほしい。
- (黒野副座長) 今までの検討会議において考えてきた内容、分かり易さや上越らしさなどを踏まえた提案をしていただけて良かった。
東西のつながりや性格の違いを踏まえつつ、機能面、デザイン面での調和が図られており、良い案だと思う。
- (内山委員) デリケートな部分で核心には触れられないと思うが、今後決まってくる駅名と駅舎等のデザインがそぐわなくなると、折角のデザインが無駄になってしまう。
このようなことが起こらないよう、設計コンセプトを明確にした上でデザインして欲しい。
- (事務局) 駅舎デザインは鉄道・運輸機構側が検討するが、今回の提案や地域の意見を踏まえた検討を行って頂きたいと考えている。
なお、本地区全体のコンセプトとしては、百年まちづくりという形で考えている。
- (水野座長) 駅名によっては特異な形状になる可能性もある。
- (田中委員) 突飛な駅名にはならないだろうから、大丈夫だろう。
- (平野委員) 今回の検討は基本構想であるが、構想段階でもユニバーサルデザインや使い方のモラルについては考慮しておく必要がある。例えば、駅前広場内のシェルターについては、乗降場所では無いところにはガラスを設置するなど、吹き込み防

止も考慮して欲しい。

- (事務局) 出来る範囲で今後考えていきたい。
- (水野座長) 次に新幹線駅舎について、質問やご意見は。
- (平野委員) 駅舎中央にグレーチングがあるが、水処理はどのように考えているのか。
- (事務局) 数力所にまとめた後で落とすことを想定している。
- (平野委員) 第1案は非常に良いと思うが、夏期の暑さについて考慮しておく必要がある。
- (事務局) ガラス面にセラミックの焼き付けを行ったり、開口を設けるなどによりコントロールはできると考えている。
- (大島委員) スリット部はどのような効果があるのか。
- (事務局) 電氣的な仕組みではなく、積雪が溶けやすい構造としているものである。
- (水野座長) ガラス面における情報提供についてのご意見は。
- (内山委員) ガラスのアイディアはすばらしい。例えば、西口のパンoramaについて、夏期にも妙高山に雪が積もっているように見せることもできるのか。
- (事務局) 面白いアイディア。そういうことも考えていきたい。
- (平野委員) オブザーバーの鉄道・運輸機構さんにお聞きしますが、新聞記事によると、駅舎設計のコンサルタントが決まったとのこと。提案内容について大枠は決まっているのか。
- (鉄道機構) 設計にあたり、条件に見合う技術力を有しているのか、という観点から選定している。デザインの細部はこれからの検討となる。
- (水野座長) 他にご意見は。
- (黒野副座長) 新幹線駅舎と自由通路昇降施設の双方が引き立つような関係性を有しており、いずれも良い案である。
- (田中委員) ただ、第1案などについては熱を逃がす方策を考えないといけないだろう。夏場はとても暑くなる。
- (水野座長) 夏はまるで蒸し風呂のようになるのでは、とのご意見。工夫は必要だが、新幹線駅の両端が開口しており、風の流れはあると思う。
- (事務局) ルーバーの設置や開口の確保など、風の流れを考えていく必要はある。

(事務局) 次回の会議では、今回の提案を踏まえた3つのデザイン案を鉄道・運輸機構より提案頂くこととなる。このデザイン案について、本会議での検討とともに、市民の皆さんの意見もお聞きし、1つにまとめたいと考えている。

(水野座長) 市民意見はどのように把握するのか。

(事務局) 地元への説明会や市民意見の募集により把握していく予定である。

(飯塚委員) 模型にあるように西側の市街地の建築物は低く抑えた方が良い。高さだけでなく、色の枠組みもあったほうが良いと考える。

(事務局) 今年度に、まちの開発についての検討を行う予定であり、その中に高さや色についての考えも入ってくる。ただし、地権者がいることなので、地権者意向も十分に踏まえた内容とする必要もあることを理解いただきたい。

(平野委員) 当初、土地利用方針を示されたが、具体的な個人の意向や企業の進出意向などはあるのか。

(事務局) 事務局としては承知していない。土地利用の方針をお出ししたが、異論があるのも事実である。現在は今年度の検討のための準備を行っているところである。

(3)その他 (特になし)

(4)閉会 (事務局より開会)

9 問合せ先

総合政策部新幹線・交通政策課 TEL: 025-526-5111 (内線 1851)

E-mail: kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第5回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	(株)英香園取締役	出席
内山 勇人	上越青年会議所直前理事長	出席
大島 政義	和田地区振興協議会前会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会会長	出席
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	出席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	出席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	出席
平野 仁	会社役員	出席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	(株)JTB 関東上越支店長	欠席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
田中 雅史	〃 〃 〃 主任	代理
田村 正文	〃 交通政策局交通政策課長	欠席
小林 佳布	〃 〃 〃 主任	代理
西田 聡	JR東日本新潟支社企画室長	欠席
山川 昭夫	〃 〃 副課長	代理
齋藤 浩	〃 〃 主席	出席
津金 昭一	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	出席
滑川 昌彦	〃 〃 建築課課長	出席
佐藤 行雄	〃 〃 課長補佐	出席

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	総合政策部長	出席
柴山 弥松	〃 新幹線・交通政策課長	出席
吉田 正典	〃 新幹線・交通政策課副課長	欠席
伊藤 伸	〃 新幹線・交通政策課係長(新幹線・並行在来線担当)	出席
岩澤 紀之	〃 新幹線・交通政策課主任	出席
三井田正志	〃 新幹線・交通政策課主任	出席
渡来 美香	〃 新幹線・交通政策課主任	出席
市川 公男	〃 新幹線新駅周辺整備事務所長	出席
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社 金沢工業大学 教授 蜂谷俊雄	出席